

鳥取県歯科医師会  
令和4年度事業報告書

実施事業等会計

【継続事業1】 鳥取県口腔総合保健センター運営事業

(1) 障がい者歯科診療事業

会員協力医の輪番で、毎週木曜日の午後に診療を行った。また、鳥取県から委託を受け、障がい者等口腔機能向上推進事業として、日本障害者歯科学会の認定医指導医を招聘して、臨床研修を1回開催するとともに、グループホーム等（西部1施設）へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣して口腔検診を実施した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	3	5	4	3	5
受診者数	42	48	52	48	39	59

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	4	2	4	4	3	5	45	3.8
受診者数	46	39	64	58	44	70	609	50.8

(2) 口腔疾患予防処置及び歯科相談事業

会員の輪番制で、毎週火曜日の午後に、フッ化物塗布、初期う蝕（むし歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	4	4	3	3	3
受診者数	1	2	2	3	5	0

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	3	3	4	3	3	3	39	3.3
受診者数	3	1	0	3	2	1	23	1.9

(3) 歯科健康診断事業

共済組合などから委託を受け、本会が健康診断実施契約を締結、会員に協力を依頼し、診断票による診査と結果に基づく保健指導を行った。

区 分	受託件数	受診者数
共済組合	1	73
事業所健保組合他	7	181
島根健保連	2	医院請求

**【継続事業 2】 歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業**

**(1) 歯科医学・医術振興事業**

**① 鳥取県歯科医学会・鳥取県臨床歯科医学会・鳥取県歯科法医学会**

著名な臨床医を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける鳥取県歯科医学会、会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う鳥取県臨床歯科医学会（10:00～10:45 演題：3題）を開催した。

**《 鳥取県歯科医学会 》**

日 時	令和4年12月4日（日） 10:55～13:00
開催方法	オンライン+2会場
テ ー マ	ワンランク上の接着、われない、はずれないCAD/CAMレジン冠、オールセラミック冠
講 演 I	演題 保険CAD/CAMレジン冠とオールセラミック冠の概要 講師 広島大学先端歯科補綴学 安部倉 仁氏
講 演 II	演題 「接着」と「形成」のポイント：研究からの知見と臨床における実際 講師 大阪大学大学院 歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野 峯 篤史氏
参加者数	歯科医師33名 歯科衛生士他4名 合計37名（オンライン24名 会場13名）

**② 災害対策事業**

発災時に対応できる体制を構築するため、各種課題の対応等を行う「災害歯科保健医療対策会議」を12回開催した。

**(2) 歯科保健活動助成事業**

県内の歯科保健推進のため、鳥取県歯科衛生士会及び鳥取県歯科技工士会に活動助成金としてそれぞれ20万円を交付した。

**(3) 歯科保健推進事業**

**① 県民歯科保健公開講座**

より多くの県民の方に正しい歯科保健知識を普及するため、動画「コロナ禍における給食後の歯みがきのすすめ」をインターネットで常時公開するとともに、チラシを作成、配布した。

**② 鳥取県口腔衛生関係者研修会**

県内の保育士、養護教諭等を対象として、子どもの歯科保健指導の充実を図ることを目的に口腔衛生に関する知識を習得する研修会を鳥取県及び母子保健推進会議と共同で開催した。

日 時	令和5年2月2日（木） 14:00～16:00
開催方法	オンライン

演 題	ニューノーマルな時代の齲蝕予防戦略として母子保健の可能性を探索する ーマイナス1歳からはじめるむし歯予防ー
講 師	静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科 仲井雪絵氏
参加者数	80名

### ③ 在宅医療推進研修会

今年度は開催していない。

### ④ 学校歯科保健推進事業

今年度は実施していない。

### ⑤ 鳥取県からの受託事業

#### 〔むし歯予防フッ化物洗口事業〕

幼児期から学齢期のむし歯を予防するため、県内の施設等を対象として、フッ化物洗口法（うがい）を実施できる体制を整備した。今年度は小学校3校（うち2校は試行）で実施するとともに、各自治体への説明やブクブク洗口推進レターの発行などの普及啓発を行った。

#### 〔高齢者施設における口腔機能向上推進事業〕

歯科を受診する機会の少ない高齢者施設（西部2施設）の入所者に対して口腔健康診断及び健診後フォローを実施した。

#### 〔歯科医師認知症対応力向上研修事業〕

歯科医師等による口腔機能の管理を通じて、認知症の疑いのある人に早期に気づき、認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理を適切に行うための研修会を開催した。

日 時	令和5年2月19日（日）9：00～13：00
会 場	米子市両三柳104-1 鳥取県西部歯科医師会館＋2会場オンライン
演 題	認知症の正しい理解とその対応
講 師	鳥取大学医学部附属病院 脳神経医科学講座 神経病理学 准教授 足立 正氏 鳥取県歯科医師会地域歯科医療連携室長 足立 融氏
参加者数	歯科医師49名 歯科衛生士等16名 合計65名

#### 〔県民歯科疾患実態調査事業〕

県民の歯科保健の状態を把握し、今後の歯科保健対策の推進に必要な基礎資料を得るため、県内20歳以上の者2,183名を対象に歯科健診及びアンケート調査を実施した。

### ⑥ 地域歯科医療連携室

#### 〔地域医療介護総合確保基金事業〕（鳥取県補助事業）

地域包括支援センター等の他機関と連携しながら、在宅歯科医療希望者への歯科診療所の照会、在宅歯科医療等に関する相談、在宅歯科医療を実施しようとする医療機関に機器の貸出を行う地域歯科医療連携室（本会及び地区歯科医師会）を運営した。

前年度に引き続き、連携室を広く周知するためのポスター・リーフレットを作成し、関係機関に配布するとともに、全国レベルの学会参加、各種講習会（口腔ケア関連、連携室関係職種レベルアップ研修会等）の開催、行政・多職種からの要望事項の協議や課題の検討を行った。

〔医療介護連携のための多職種連携等研修事業〕（鳥取県補助事業）

超高齢化社会においては、高齢者のフレイル・サルコペニア、要介護者の栄養障害、終末期の経管栄養についてなど、「口から食べる」と「栄養」に関しては多くの問題がある。この問題に対処するには地域、在宅において、特定の職種が専門的に行うのではなく、医療職（歯科医師、歯科衛生士）と保健師、管理栄養士、理学療法士等の多職種が連携して、同じ目標を持った **Trans-disciplinary team** をつくることが不可欠である。その連携推進のための人材を養成する研修会を開催した。

日 時	令和5年1月8日（日）10:00～15:00
会 場	倉吉市駄経寺町 212-5 倉吉未来中心 セミナールーム3
内 容	演題 改めて考える『よく噛む』って何だろう？ 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野 教授 小野高裕氏 演題 鳥取県後期高齢者の食べる機能の現状と今後の多職種連携フレイル対策 講師 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 准教授 渡邊 裕氏
参加者数	歯科医師26名 歯科衛生士他16名 多職種29名 合計71名

〔鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業・健口機能向上支援モデル事業〕

鳥取県後期高齢者医療広域連合から業務委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に歯科健康診査（問診・咀嚼機能評価・舌機能評価・嚥下機能評価・口腔内診査）を行った。

《 鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業 》

後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防し、健康寿命の延伸を図るため、歯・歯肉、口腔清掃や口腔機能状態等をチェックする歯科健康診査を実施した。

受診期間	令和4年6月1日～令和5年1月31日
協力医院	東部67医院 中部30医院 西部67医院 合計164医院
受診者数	東部507名 中部242名 西部1,266名 合計2,015名

《 鳥取県後期高齢者医療健口機能向上支援モデル事業 》

市町村及び山陰言語聴覚士協会と連携し、市町村が指定する会場で集団歯科健康診査を行い、口腔健康に関する啓発や健診結果のフォローアップ教室等を実施した。

実施期間	令和4年6月1日～令和5年1月31日
実施状況	米子市7回43名 境港市2回15名 湯梨浜町3回18名 南部町3回24名 合計15回100名

（4）歯科保健普及啓発事業

① 歯と口の健康週間相談事業（鳥取県からの受託事業）

歯と口の健康週間（6月4日から10日までの7日間）の日曜日に東・中・西部の3か所で歯に関する各種相談や歯科健康診査などを行うイベントは開催しなかったが、新聞掲載による普及啓発を行った。

## (5) 歯科保健コンクール事業

### ① よい歯のコンクール事業

今年度は実施していない。

### ② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図るため、県内の学校から公募し、公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰した。その後、作品は、東・中・西部地区ごとに公共施設等に展示した。

なお、最優秀作品は、日本学校歯科医会・日本歯科医師会の主催する全国コンクールに応募した。

## (6) 歯科医療管理事業

### ① 医療管理講演会

会員及び医院スタッフ等を受講対象として、医療安全対策、危機管理対策、法的知識、接遇マナーなど受診しやすい診療所を目指すため、診療所運営全般に関する講演会を開催した。

また、施設基準届出に対応した院内感染防止対策に関する研修会を令和4年7月12日(火) 19:30～20:30に本会小田浩一常務理事の講師により開催した。

日 時	令和4年10月30日(日) 10:15～12:15
会 場	鳥取市吉方温泉 3-751-5 鳥取県歯科医師会館
演 題	中国地域歯科医療管理学会学術大会 特別講演併催 医療訴訟を起こされない為に、知っておきたい精神と身体と痛みの科学 ～大学では習わなかった口と顔の痛みの病気～
講 師	静岡市立清水病院口腔外科 口腔顔面痛外来 井川雅子氏
参加者数	医療管理学会員44名 学会員以外11名 合計55名

### ② 保険診療指導

診療所を受診される方々に適正な保険診療による安心・安全な歯科医療を提供するため、制度改正や届出様式、取扱要領等の最新情報を会員へ周知した。

### ③ 歯科医療会員調査事業

今年度は実施していない。

## (7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科医院マップ、歯と口の健康、休日歯科診療案内、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページの運営を行った。併せて、本会の活動を内外に周知する広報誌「鳥歯会報」を年6回発行し、会員及び関係機関に配布した。

## 【継続事業3】 歯科衛生士養成所運営事業 (鳥取県からの受託事業)

鳥取県から、歯科衛生士としての必要な知識及び技能を習得させる3年制専門学校(鳥取県立歯

科衛生専門学校／1年生35名、2年生31名、3年生22名）の運営委託を受け、本会の会館2階に併設されている県の校舎で、施設設備の保全及び生徒の授業に関する事務等を行った。

#### 【継続事業4】 歯科技工士養成所運営助成事業

県内における歯科技工分野の人材育成を支援するため、県内に唯一設置されている鳥取歯科技工専門学校に対して、運営費の助成（350万円）を行った。

---

### そ の 他 会 計

#### 【その他の主要な事業以外の事業】

##### （1）会員の福利厚生事業

① 会員表彰披露・祝賀会

今年度は開催していない。

② 会員フェスティバル

今年度は開催していない。

③ 同好会助成事業

会員の同好会活動の活性化を図るため、ゴルフ同好会に8万円の経費の助成を行った。

##### （2）中国・四国地区歯科医師会連合会関連事業

今年度は中国・四国地区歯科医師会連合会の当番県になっており、役員連絡協議会及び分科会、歯科医学大会を開催した。なお、記念式典並びに功労者表彰式、懇親会は開催せず、受章者には表彰状等の発送を個別に行った。

#### 《 令和4年度中国・四国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会 》

日 時	令和4年9月3日（土）14：00～
報 告	日本歯科医師会 日本歯科医師連盟
協 議	提出協議題2題
開催方法	オンライン

#### 《 令和4年度中国・四国地区歯科医師会連合会 災害歯科保健医療担当者連絡協議会 》

日 時	令和4年9月3日（土）16：00～
協 議	提出協議題5題
開催方法	オンライン

《 令和4年度中国・四国地区歯科医学大会 》

日 時	令和4年9月4日（日）9：30～12：00
演 題	災害時の歯科保健医療～地域連携と職能連携～
講 師	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 非常勤講師 中久木康一氏
開催方法	オンライン（Zoom Webinar ライブ配信）

《 中国地域歯科医師会 親睦野球大会 》

今年度は開催されていない。

（3）歯科衛生士就学資金給付事業

地域歯科医療を担う歯科衛生士の確保を目的として、鳥取県立歯科衛生専門学校において歯科に関する専門知識を習得しようとする者で、県内に就業を希望する者に対して就学資金を給付した。

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
採用者数	0	1	1	4

法 人 会 計

【法人の管理業務】

総会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行った。